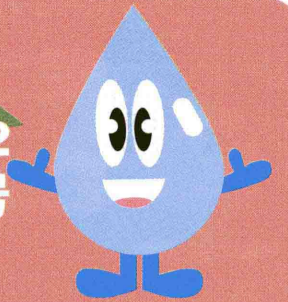


大橋川通信

お お は し が わ つ う し ん

2003.12
第 3 号



大橋川改修の取り組み 状況について説明会を開催

大橋川改修については、多くの住民の方から、「現在何をやっているのか」や、「なぜ計画提示が遅れているのか」などの質問を頂きました。

そこで、現在、どのような作業や検討を行っているのか、大橋川改修の現在の取り組み状況について、広く住民の皆様に知って頂きたく、説明会の開催についてご案内いたします。

皆様の多数の参加をお待ちしております！



◆説明会の開催日時・場所

【日時】

- 第1回 12月10日(水) 午後7:00~8:00
- 第2回 12月11日(木) 午後7:00~8:00
- 第3回 12月14日(日) 午後2:00~3:00

【場所】

大橋川コミュニティセンター2階会議室

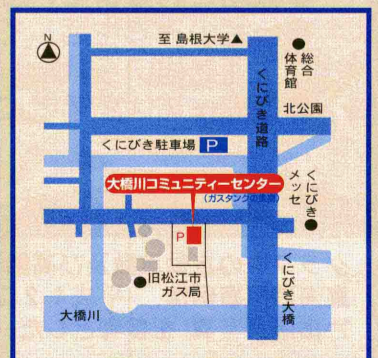
お気軽にご来場、お問い合わせください。

大橋川コミュニティセンター



〒690-0841 松江市向島町134-4
TEL 0852-28-3621 FAX 0852-28-3623
E-mail:comisen@mable.ne.jp

周辺案内図



※大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営しています。

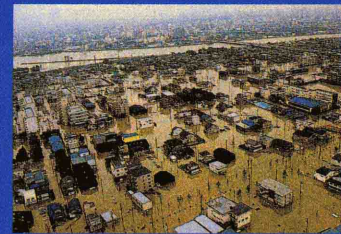
～約30年前と比較したら？～



近年発生した都市型水害は、生活様式の変化や高齢化社会の到来により、水害による被害の様子が昔と変わってきています。

昭和47年に比べ松江でも都市化が進んでおり、もし再び松江で洪水が発生した場合どのようなことが起こるのか、東海豪雨*での事例をもとに考えてみましょう。

*平成12年9月に発生した東海豪雨災害は、未曾有の集中豪雨により愛知県を中心に大きな被害が発生しました。

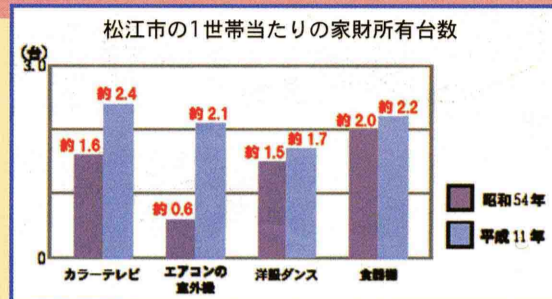


東海豪雨 名古屋市の浸水状況

◆ 家屋・家財

約30年前と比べて、1世帯当たりの家財が増えています。そのため、一度水に浸かると、修理や補修に多大な費用がかかります。

※生活様式が多様化し、フローリング、断熱材、床暖房を採用する住宅が増え、また1世帯当たりの家電製品や家具の所有も増えています。



東海豪雨での事例

- 家財道具が全部ゴミになった
- 内装をはがすと、カビだらけになっていた
- フローリングの板が反ってしまい、使い物にならなくなった
- 1ヵ月以上経っても、断熱材はまだ濡れた状態だった

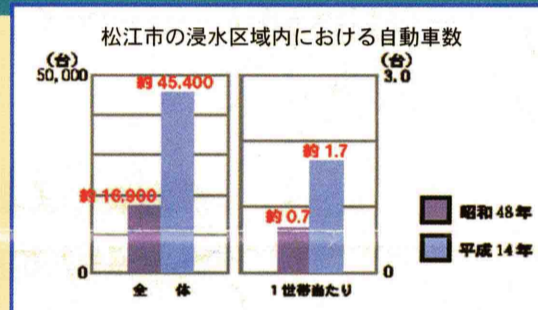


散乱した家財を片付ける被災者

◆ 自動車

約30年前と比べて、松江市の浸水区域内における自動車数は約3万台も増加しています。そのため、市街地が浸水すれば、大渋滞が起こり、水害により車は動かなくなります。

※自動車は、マフラーから浸水して動かなくなります。



東海豪雨での事例

- 自宅前の道路で多数の車が立ち往生していた
- 車の修理代があまりに高額であったため、廃車にして新規購入した
- マンションの1階に駐車してある車が水没して廃車になった



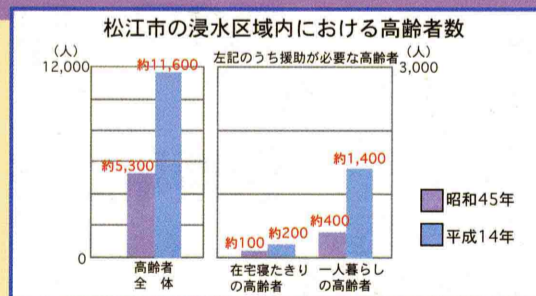
浸水して動けなくなった車両

◆ 高齢者

約30年前と比べて、松江市の浸水区域内における高齢者数は、約2倍に増加しています。高齢者が自力で避難するのは困難な上、取り残されてしまう可能性もあります。また、後片付けや修理は大変な負担です。

東海豪雨での事例

- 救助されるまで、浸水家屋の中に長い時間取り残されていた
- 年金のみで生活しているため、生活再建に要したお金により辛い生活を強いられた
- 復旧作業は高齢者にとって辛いものであり、心身ともに限界にきた



ボートで避難する高齢者

注1) グラフ中の自動車数及び高齢者数は、浸水区域内の町別人口等で比例配分した推定値です。

注2) 東海豪雨事例は、「平成12年9月東海豪雨災害に関する実態調査調査報告書(フリーアンサー集)群馬大学工学部建設工学科都市工学講座片田研究室編」を参考とした。

このように松江市の市街地でも生活様式の変化や住民の高齢化が進んでいるため、一度水害が生じると予想もつかないような被害や困難が生じることが考えられます。